

I o T新時代の未来づくり検討委員会 人づくりWG (第3回)

○日時：平成30年1月24日(月) 14:00～16:00

○プレゼンター

- ・ヤフー株式会社 安宅様
- ・株式会社 jig.jp 福野様
- ・沖縄県社会福祉事業団名護厚生園 儀保様

○主な議論

【プレゼンテーションについて】

- ・プログラミングも含め、(他を減らさずに) 学習指導要領に単に取り入れるだけでは、子供達も教職員の負担も重くなる可能性がある。(子供達に負担をかけない範囲で) 授業時間外でのクラブ活動的な取組を行う、すでに学んだ上級生が下級生のメンターとなって教える等の取組が有効。
- ・IoT・AI、ロボット等の未来技術が、世の中全体を変えると考えるのか、それとも、新しい社会の一部を構成する重要な一つの分野として位置づけるのか、全体構図を整理の上で、議論を行う必要がある。
- ・「気づき」という提供者サイドからの目線での質の向上についてだけではなく、利用者サイドでどのような状態改善が見られたかを把握することも必要。職員の働きかけに変化が出て、利用者側の反応も変わってきたと感じているので、今後目に見える成果(グラフ化)としてあがってくることに期待している。
- ・プレゼンにあったような(我が国が危機であるとの)時代観や現状認識を国全体の合意にしていく必要がある。そのためには、例えば我が国のトップの企業が世界の時価総額トップ100から落ちる、といったような大きな衝撃がないと難しいかもしれない。
- ・ショック療法として、例えば電子マネーを持たないと税金2倍、といったように、レガシーが子供達の負担とならないよう、非効率なものをやめていかないといけない。

【主な論点(案)について】

- ・ICTのリーダー、指導者をどう作るかという視点が必要。
- ・シーズ、ニーズのマッチングとよく言われるが、高齢者、障害者も「自分たちの道具は自分たちで作る」ということを強調していくことが重要だと感じる。
- ・IoTとAIはよく横に並べて議論されるが、これらはレベルの違う概念ではないか。短期的な射程のもの、長期的に大きなイノベーションをもたらすものという違いがあるのではないか。